

## 小中高生の検定・資格取得に関する調査

## 中高生の8割以上が資格持っている 人気は漢検・英検

### 資格取得の目的 小学生「定着度合いを測る」、中高生「入試に生かす」

株式会社栄光(本社:東京都千代田区 代表取締役社長:下田勝昭)が運営する進学塾・栄光ゼミナールは、2019年11月13日(水)～11月27日(水)に、小中高生の検定・資格取得に関する調査を実施し、小学1年生～高校3年生の子どもを持つ保護者 785 人の有効回答が得られました。

- 検定・資格を「持っている」 小学生の **53.8%**、中高生の **80.6%**
- 取得している検定・資格 小学生は「日本漢字能力検定(漢検)」、中高生は「日本英語検定(英検)」が最多
- 検定・資格を取得する目的 小学生は「身に付けた知識やスキルの定着度合いを測るため」、中高生は「入試に役立てるため」
- 検定・資格を取得していない理由 「学校の勉強や受験勉強を優先」「子どもの興味・関心がない」

栄光ゼミナール調べ

#### <調査概要>

調査対象:小学1年生～高校3年生の子どもを持つ栄光モニター会員

(栄光ゼミナール・栄光の個別ビザビ・大学受験ナビオに通塾する保護者)

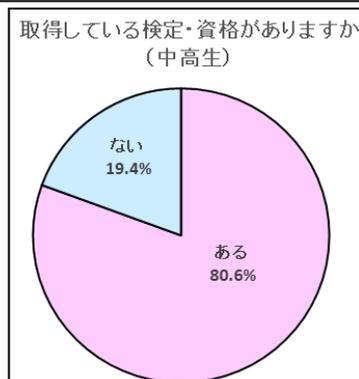
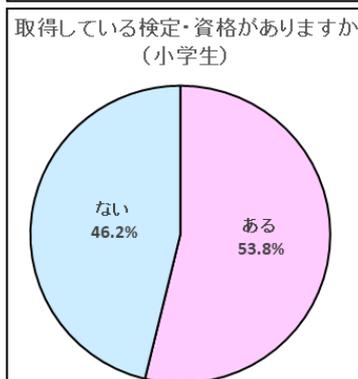
調査方法:インターネット調査

調査期間:2019年11月13日(水)～11月27日(水)

回答者数:785名(うち、小学生:394名(50.2%) 中高生:391名(49.8%))

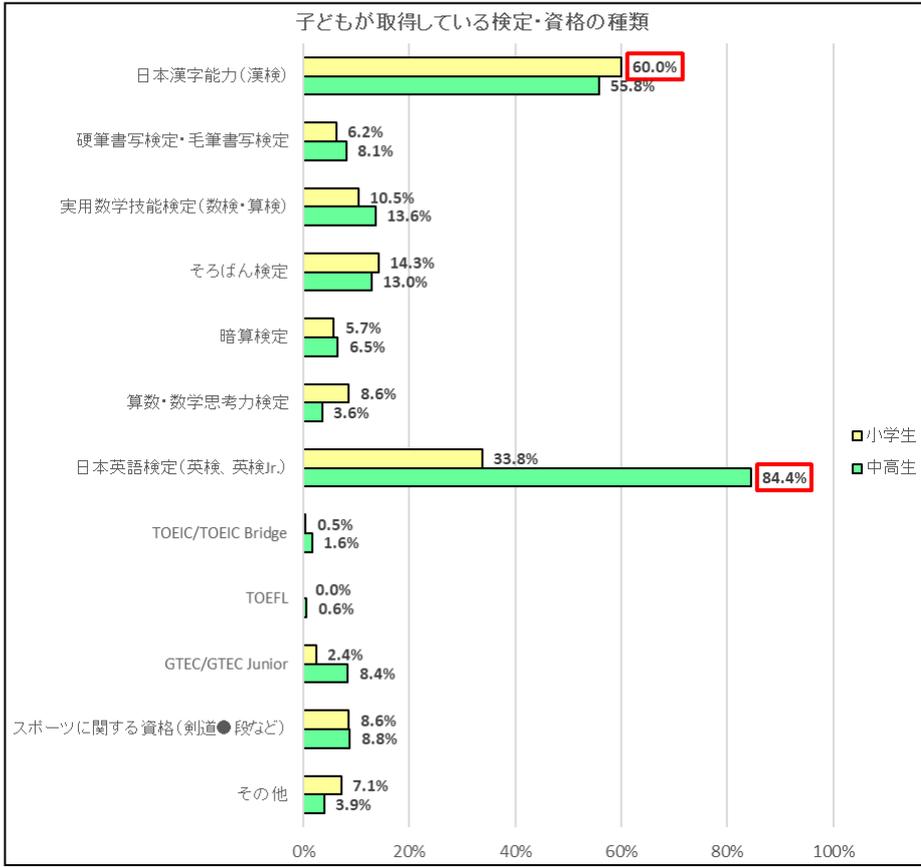
#### 子どもは、現在取得している検定や資格はありますか。

(n=785(うち小学生 394、中高生 391)、単一回答方式)



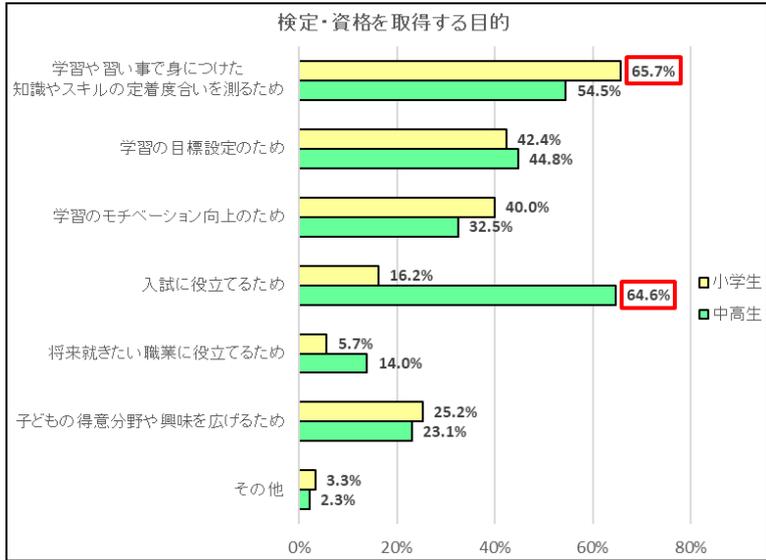
保護者に、子どもが現在取得している検定・資格があるかを聞いたところ、小学生の保護者の 53.8%、中高生の保護者の 80.6%が「ある」と回答した。中高生では、実に5人に4人以上が、何らかの検定や資格を取得していることが分かった。

**子どもが取得している検定・資格の種類を教えてください。**  
 (n=518(うち小学生 210、中学生 308)、複数回答方式(あてはまるものすべて))



子どもには、取得している検定・資格があると回答した保護者を対象に、子どもが取得している検定・資格の種類を聞いたところ、小学生が最も多く取得している資格は「日本漢字能力検定(漢検)」、次いで「日本英語検定(英検、英検 Jr.)」だった。  
 中学生では、「日本英語検定(英検、英検 Jr.)」が多く、検定・資格を取得している中学生のうち、実に 84.4%が英検を取得していることが明らかとなった。

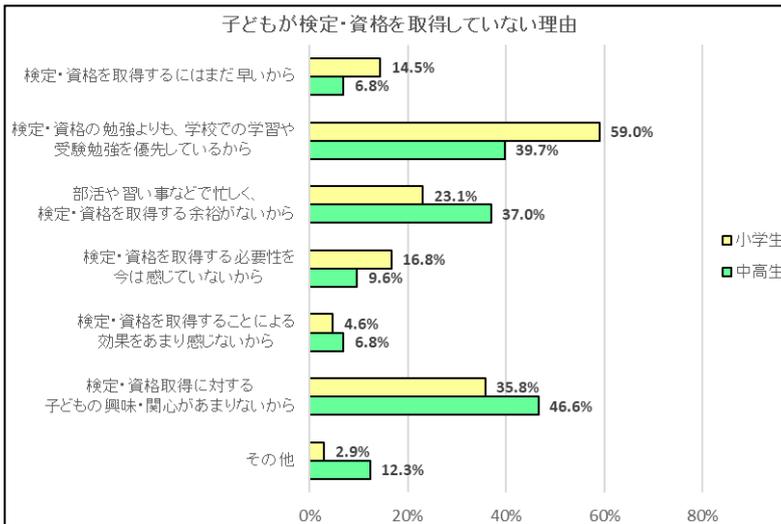
**子どもが検定・資格を取得する目的を教えてください。**  
 (n=518(うち小学生 210、中学生 308)、複数回答方式(あてはまるものすべて))



子どもには、取得している検定・資格があると回答した保護者を対象に、検定・資格を取得する目的を聞いたところ、小学生の保護者の 65.7%が「学習や習い事で身につけた知識やスキルの定着度合いを測るため」と回答した。中学生では、「入試に役立てるため」が最も多く、検定・資格を持っている中学生の保護者の 64.6%にのぼった。  
 高校入試や大学入試では、検定や資格を活用した入試も広がっているため、進学を目的とした資格取得が多いと考えられる。

## 子どもが検定・資格を取得していない理由を押してください。

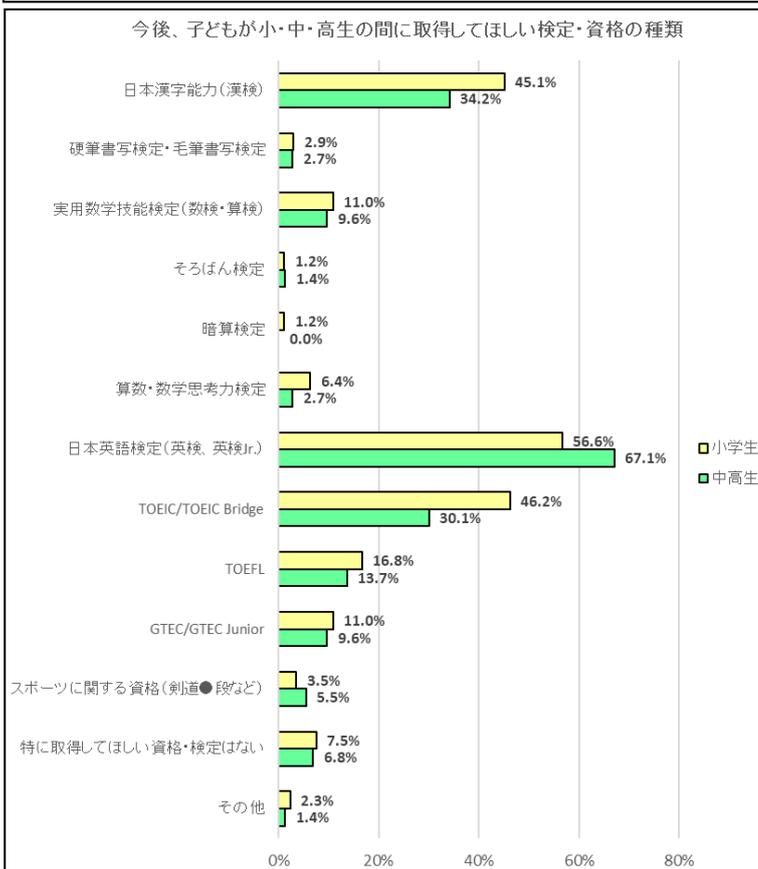
(n=246(うち小学生 173、中高生 73)、複数回答方式(あてはまるものすべて))



子どもが検定・資格を取得していない保護者に、その理由を聞いたところ、小学生では「検定・資格の勉強よりも、学校での学習や受験勉強を優先しているから」が最も多かった。中高生では、「検定・資格取得に対する子どもの興味・関心があまりないから」という回答が最も多かった。

## 今後、子どもが小・中・高生の間を取得してほしい検定・資格の種類を教えてください。

(n=246(うち小学生 173、中高生 73)、複数回答方式(あてはまるものすべて))



子どもが検定・資格を取得していない保護者に、今後、子どもが小・中・高生の間を取得してほしい検定・資格の種類を聞いたところ、小学生・中高生ともに「日本英語検定(英検、英検 Jr.)」が最も多い結果となった。

**子どもが検定・資格を取得する際に、保護者がサポートしたエピソードなどがあれば教えてください。**

(自由回答方式)

- ・一緒に勉強を頑張ろうと思い、級は違うが漢字検定を自分も受けた。また、数年分の過去問をネットからダウンロードして印刷し、テストの予行練習をした。
- ・テストという堅苦しさや緊張をほぐすため、いつも「クイズ大会に参加するよ」「やれるとこだけでいいよ」と、プレッシャーをかけないように挑ませています。
- ・漢検の勉強の際、何度も書いて消せるミニタブレットのようなものをいつも持ち歩き、問題を出しあった。
- ・単語帳をアプリで読み取れるものを買ってきてまずは私(母)が単語帳を作り、子どものスマホに読み取らせて使い方を教えたところ、おもしろがって使い始め、電車の中などの隙間時間にやるようになりました。
- ・スキー検定を取得する際、一緒に滑り、動画を撮影し、合格に向けての修正ポイントをアドバイスした。
- ・英検 3 級の 2 次試験の面接官の役を保護者がやり、練習しました。
- ・友人の影響が大きかった。部活やテスト前で忙しい中、限られた時間でモチベーションの高い友人の言葉が心に響いたようで、英検取得に向けて頑張れた。

**保護者自身が、資格や検定を取得した際のエピソード、資格取得をして役立っている経験などがあれば教えてください。**

(自由回答方式)

- ・学生時代に就活対策で取得した秘書検定 1 級やファイナンシャルプランナーが現在の生活や仕事に少なからず役に立っている。
- ・文章を書いたり、話したりする職業柄、漢字検定や日本語検定などの国語関係の資格は役立っています。
- ・基本情報処理試験は、学生時代に取ったものですが、いままでで一番勉強して取得した資格として、自信にもなっていますし、今でも大いに役立っています。
- ・簿記の資格を取得した時の知識が、確定申告ソフト入力する時に役立った。
- ・情報処理や PC エンドユーザー向け検定、ワープロ検定 1 級、エレクトーン指導グレードなど、どちらかというと資格マニアですが、資格があるからこそ、資格の勉強をしたからこそ、少しのブランクがあっても、またすぐに戻り、また向上することができます。
- ・同じ資格取得のために友人達と頑張り通した経験が、自己肯定や成功体験になったと感じる。
- ・栄養士の資格を使った就職はしませんでした。が、家庭生活や家族の健康管理に役に立っています。
- ・中学生でとったアマチュア無線の免許が、災害時の連絡に使えると気づき、開局の準備をしている。
- ・資格は 70 近く取得しました。新しいことを始めるときに、基本的な事項が短期間で身に付けられるので何事にも役立ちました。
- ・珠算検定能力資格は、学生時代の日々の勉強でも、受験でも、今現在の日常生活の中でも常に役に立っており、本当に学んで良かったと思っています。
- ・医療事務の資格を取得したら、子どもが病院に行った際に明細の見方がわかった。

## 会社概要

中学受験、高校受験対策の進学塾「栄光ゼミナール」や個別指導で目標達成へ導く学習塾「栄光の個別ビザビ」、高校生対象の大学受験対策塾「大学受験ナビオ」等、首都圏を中心に全国 700 教室超を展開しています。生徒の学ぶ意欲を引出し、自ら学ぶ姿勢を育てることで、中学受験・高校受験・大学受験の合格へ導き、生徒・保護者の期待に全力で応えています。

そのほか、科学実験専門教室やロボット・プログラミング教室のSTEM教育事業も行っています。

本社： 東京都千代田区富士見二丁目 11 番 11 号

代表： 代表取締役社長 下田勝昭

設立： 1980 年7月

### 本件に関する問い合わせは

株式会社Z会ホールディングス広報 大久保・渡辺

電話：03-5275-1685 Fax :03-5275-1679 Mob :070-4036-1980

メールアドレス:proffice@zkai-hd.co.jp